

2017 春季生活闘争ファイティングフォーラムを開催!

クラシノソコアゲを実現しよう!

◎ 2017 春季生活闘争秋田県第1次統一行動

- ・と き：2017年3月6日（月）
- ・と ころ：秋田市文化会館（秋田市山王） ・参加者：300人



クラシノ
ソコアゲ
応援団!

RENGOキャンペーン
一人ひとりが主役です。

○ 主催者挨拶：連合秋田・黒崎 保樹 会長

2017 春季生活闘争の状況について「連合は『底上げ・底支え』『格差是正』をスローガンとして、月例賃金にこだわった闘いを展開している。経営者側は年間ベースでの改善を主張しており、労使の間で大きな隔たりがある。また、今次春闘は単なる賃上げの取り組みではなく、長時間労働の関係など働き方改革についても議論していかなければならない。組合の役員だけではなく、組合員のみなさん一人ひとりが、最後まで全力で取り組んでいただきたい。」と挨拶した。

○ 労働局長挨拶：連合秋田・秋葉 宏 労働局長

「今年の春季生活闘争の焦点は、月例賃金のベースアップをいかに獲得するかである。定昇制度のない中小組合においても連合秋田の方針に基づいて粘り強く交渉してほしい。人への投資・組合員の労働条件の向上無くして企業は生き残っていけない。このファイティングフォーラムを契機に、団結を高めていただきたい。」と挨拶した。

○ 提起：「連合秋田2017 春季生活闘争について」

「連合本部の受け止めとして、地場中小の要求が少しずつではあるが上がってきている。すべての組合が、経済の自律的成長の実現、またこれに向けた労働組合の果たすべき社会的責務を認識した上で月例賃金の継続的な引上げにこだわった要求を行い、粘り強く交渉を行っている。加えて、非正規労働者の雇用の安定・処遇改善、男女平等の取り組みと合わせて『底上げ・底支え』『格差是正』に向けた取り組みが大きく進んでいるという報告を受けている。今後も各地域で様々な取り組みが行われるので、積極的な参加をお願いしたい。また『政策・制度実現の取り組み』として、3月8日に秋田県、同15日に秋田労働局、経営5団体への春闘要請を予定している。」と提起した。



連合秋田

藤井 真悟 事務局長

○ 2017 春季生活闘争構成組織決意表明

構成組織を代表して、JAM秋田の後藤書記長、自治労秋田県本部の山内書記長より、2017 春季生活闘争に臨んでの状況報告と力強い決意表明をいただいた。



JAM秋田
後藤 正文 事務局長



自治労秋田県本部
山内 一滋 書記長

○ アピール採択、団結がんばろう！

連合秋田中央地域協議会の藤原副事務局長より「2017 春季生活闘争において、『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘おう！」とするアピールが提案され、満場の拍手で採択された。

最後に連合秋田・黒崎 保樹会長の「団結がんばろう！」で勝利に向け取り組むことを確認した。



秋田中央地域協議会
藤原 和功 副事務局長



団結がんばろう！



☆ 各地域集会開催状況

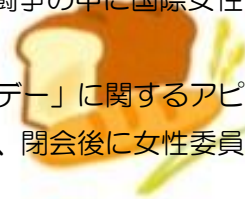
連合秋田 中央地協	3月6日(月) 18:00	秋田市文化会館 「連合秋田ファイティングフォーラム」	300名参加
大館地協	3月6日(月) 18:00	大館労働福祉会館	28名参加
鹿角地連	3月6日(月) 18:00	鹿角労働福祉会館	15名参加
能代地協	3月6日(月) 18:00	能代中央公民館	30名参加
男鹿地連	3月6日(月) 18:30	男鹿地連事務所	12名参加
本荘地協	3月6日(月) 18:00	本荘由利労働会館	41名参加
大曲地協	3月6日(月) 18:30	仙北教育会館	38名参加
横手湯沢地協	3月6日(月) 18:30	横手プラザホテル	117名参加

「3・8国際女性デー」街宣行動を展開!

3月6日(月)秋田駅前大屋根下(フォンテAKITA、アゴラ広場前)において、連合秋田女性委員会と構成組織組合員合わせて21名のご協力をいただき、「3・8国際女性デー」の取り組みとして街宣行動・バラの花を配布しました。用意した800本のバラは、1時間を経たずして配布を終了するなど好評の取り組みでした。

「3・8国際女性デー」の起源は、今から160年前の1857年にニューヨークで起きた工場火災で多くの女性たちが亡くなったことに端を発して低賃金・長時間労働に抗議する集会が3月8日に開かれました。その後、この日は女性たちの政治的自由と平等のために闘う記念日と位置づけられるようになり、1975年以来、国連の「国際女性デー」として賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されています。連合も1996年から、春季生活闘争の中に国際女性デーの行動を位置づけて、全国の仲間とともにこの行動に取り組んでいます。

なお、同日開催の2017春季生活闘争ファイティングフォーラムで「3・8国際女性デー」に関するアピールを連合秋田女性委員会の木村 美咲幹事が提案を行い、満場の拍手で採択されました。また、閉会後に女性委員会より参加者へ200本のバラを配布しました。



「2017春闘勝利! 連合秋田・秋田県公務労協学習交流会」

3月2日(木)ホテルメトロポリタン秋田において、連合秋田・秋田県公務労協共催の「2017春闘勝利学習交流会」が開催され、連合秋田からは構成組織代表者など20名が出席した。連合秋田を代表して黒崎 保樹会長は「今春季生活闘争も官民一体となった闘いを展開したい。」と挨拶した。

官民を超えた連携を!